

令和5年度以降の工学部電気電子情報工学科およびエネルギー理工学科における
学校推薦型選抜の変更について

令和3年11月26日
名古屋大学

工学部電気電子情報工学科及びエネルギー理工学科では、入学者の多様性を確保し、工学分野において、社会を構成する比率と大きな乖離が見られる女性比率の是正を目指すため、学校推薦型選抜において、令和5年度入学者選抜（令和4年度実施）から、女子枠を設定し、募集人員を以下のとおり変更します。

記

【電気電子情報工学科】

1．学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

現行：11名

変更後（令和5年度入学者選抜以降）：12名（うち6名を女子枠とする）

2．一般選抜

現行：107名

変更後（令和5年度入学者選抜以降）：106名

<背景>

工学部電気電子情報工学科の中核をなす電気工学、電子工学、情報・通信工学は、高度情報化社会を支える主要な工学分野であり、今後も優秀な研究者・技術者を育成・輩出することが強く求められている。これらの分野のさらなる発展には、多くの関連分野との連携・融合が必要であり、柔軟な発想と新規の視点をもたらす多様な人材が不可欠である。

工学部電気電子情報工学科では、学校推薦型選抜における募集人員を11名から12名に増やし、そのうち6名を女子枠とする。

【エネルギー理工学科】

1．学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す）

現行：4名

変更後（令和5年度入学者選抜以降）：6名（うち3名を女子枠とする）

2．一般選抜

現行：36名

変更後（令和5年度入学者選抜以降）：34名

<背景>

人類社会が直面しているエネルギー問題の解決には、従来技術の延長では限界があり、破壊的なイノベーションが求められる局面に差し掛かっている。このためには、エネルギーに関わる研究分野へ、多様な視点を持つ人材を積極的に迎え入れ、構成員が互いに切磋琢磨できる環境を創出することが有効であると考えられる。

工学部エネルギー理工学科では、学校推薦型選抜における募集人員を4名から6名に増やし、そのうち3名を女子枠とする。

以上